

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本バーカライジング株式会社	階数	地上14F
建設地	大阪府吹田市広芝町11-12,11-13	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	0 人
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	事務所,物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2015年6月22日
敷地面積	1,684 m <sup>2</sup>	作成者	都市建 田淵
建築面積	1,380 m <sup>2</sup>	確認日	2015年6月25日
延床面積	11,690 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 太田

外観パース等  
 図を貼り付けるときは  
 シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 70%  
 ③上記+②以外の 70%  
 ④上記+ 70%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
複合用途建築物なので、各々の動線が混在しなすように配慮した。また、将来に対応できるよう、フレキシブルな設計としている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
使用建築材料が出来る限りF☆☆☆☆となるように配慮している。	事務所の階高を高くし、将来の変更に対応しやすい設計としている。	共同住宅部分をセットバックして建物の圧迫感を抑えるにより、周辺の建物との調和をはかっている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギー対策等級4に相当する対策を行っている。	節水型便器等を採用し節水に努めている。	ゴミの保管施設や駐輪場等を適切に設置している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0026

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)日本パーカライズング株式会社様 江坂計画 新築工事					
	建設地	大阪府吹田市広芝町11-12,11-13					
	用途/区分	集合住宅 事務所 物販店					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
省エネ対策		② 省エネ対策					
項目		評価内容		スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		4.2	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4		
			住戸・宿泊	5.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		2.2			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.9			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない	-		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容		スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		2.0			
その他							
先進的技術の導入		技術の名称		考慮事項			
特に配慮した事項							